



第84回 日本公衆衛生学会総会 シンポジウム60 (国立保健医療科学院 企画シンポジウム)



エビデンスに基づく介護保険における保険者機能強化 の推進 (国立保健医療科学院企画)

10月31日(金) 9:20 ~ 10:50

第3会場 会議ホール・風 11F

(静岡県コンベンションアーツセンター)

座長： 大埶賀 政昭 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)
森山 葉子 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)

- 演者：
- ・ 介護保険における保険者機能の特徴と評価
筒井 孝子 (埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 教授)
 - ・ 保険者機能強化の推進に求められる自治体職員の体制や取り組み
一研修の企画・運営経験を通して一
大埶賀 政昭 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部)
 - ・ 保険者機能強化にむけたロジックモデルとデータ活用
一実効的なPDCAサイクルによる事業展開の推進一
松本 佳子
(一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構
政策推進部 専門研究員)
 - ・ 都道府県による介護保険者機能強化に向けた計画評価等にかかる
市町村支援の実践
小林 志伸 (長野県健康福祉部健康福祉政策課 係長)

概要： 日本の超高齢社会が本格化する転換点とされている2040年を見据えると、エビデンスに基づいた施策推進を担う保険者機能がより重要となる。こうした状況を踏まえ、保険者機能強化の現状や課題について確認し、今後の展望を議論する。

(注) 演者、報告内容などは事前の予告なく変更することがございます。